平成 29 年 10 月6日発行
No.313

Shining
シャイニング

発行元：社会福祉法人 拓く
TEL　0942-27-2039
FAX　0942-27-2086
http://h-polepole.com

旅行報告
夢工房

長崎旅行に行ってきました！！

９月２１日～２２日に、夢工房の利用者さん１５名、スタッフ８名で長崎へ行ってきました！！貸切バスでの移動だったので『お土産、なに買おう』『ハウステンボスでは何をみよう』とわくわくどきどき☆

ハウステンボスはハロウィンの時期ということで綺麗に飾りつけられており、その雰囲気の中、小団体にわかれてそれぞれのペースで過ごしました。２日目の遊覧船は他に乗船する人がいなかったので夢工房の貸切でたっぷりと景色を堪能することができ、うみきららでは間近でイルカのショーをみてみんな大喜びでした。帰りのバスの中でも、『イルカがすごかった』『ごはんおいしかった』と話が尽きない様子でした。

ボランティアで参加して頂いた方からは『絶品極うま旅行』と称していただき、利用者さんからは『何回もハウステンボスに行ったけど今回が一番楽しかった』と言って頂きました。毎日顔を合わせている仲間たちですが、いつも以上にきらきらとした表情でそれぞれ楽しまれていました。やはり仕事の場での様子とは違って、みなさんの「素」にちょっとでも触れることができたかなと思います。

（夢工房担当　中村　友香）

研修報告
オムツ研修

ポレポレにて「オムツ研修会」開催

９月２７日、オムツの勉強会をポレポレで行いました。講師は、オムツフィッターの資格を持つ齋藤小弥様（川村義肢株式会社エイドセンター福岡）。今回、オムツの正しい当て方とオムツ・パッドの種類とサイズを学びました。まず、二人一組となりオムツ交換をし、その後、オムツの種類やメーカー毎の強みを教えて頂きました。参加した方からは、「動きの多い方の付け方が知りたい」「実際に利用者さんを見てほしい」等の声を頂きました。排泄はプライベートな部分が多く、一口にオムツ交換といっても障害特性や可動域、皮膚疾患等、オムツをする際に配慮すべき点は様々です。講師の方から今後も、出来る限りのアドバイスはしたいと言って頂いています。今回参加できなかった方にも、伝えていきたいと思います。

（研修担当　白數　直基）

基幹センター
報告

久留米市基幹相談支援センターは2年目へ

久留米市基幹相談支援センターは開設2年目となり、主に個別での相談と地域づくりを行っています。この地域づくりとして、市役所と基幹相談支援センターが一緒に作った分科会というものがあります。分科会は、いろんな方から情報を集めて誰もが住みやすいまちづくりをしましょうという目的で５つの分科会から成り、私はそのひとつである当事者分科会（通称：バリアフリーカフェ）の事務局を担当しています。この当事者分科会は、久留米市内の障害当事者に呼びかけて2か月に1回集まり、「外出」「家族」「支援者」などテーマを決めていろんな話をされています。「障害者を理解してくれている施設は1パーセントもない」などの手厳しい話もあったり、「コーヒーの好みはこれ」「自分はポエムを書いている」などの楽しい話があったり、参加者の皆さんが情報を発信したり、共有したりして、新たな事を知る機会になっていると思います。分科会はまだ始まったばかりではありますが、これから私も当事者分科会と共に、誰もが住みやすいまちづくりに尽力できればと思います。（久留米市西部障害者基幹相談支援センター　馬場　宇理）